



妻北っ子だより

令和3年度 6月号 文責 校長

あっという間に夏至（げし）を迎えました。

日の出から日の入りまでの時間が最も長い日ですが、この日を境（さかい）にだんだんと日が短くなっていきます。まだ正式な「梅雨明け宣言」は出されていませんが、太陽の日差し、空の雲の様子は、すでに夏模様です。

待ちに待ったプール開きも、梅雨の晴れ間のおかげでどの学年も実施できそうです。

およそ1カ月後は、夏休みに入ります。年度当初に立てた「めあて」や「目標」を再度振り返らせ、しっかり生活させたいものです。

「長所、得意なこと、がんばっていること、挑戦したいこと、将来の夢」

校長室にやってくる子どもたちをターゲットにインタビューをすることを、先月号でお知らせしました。

5月6日から6月17日までに聞き取った内容をご紹介します。

ア がんばっていること、挑戦したいこと、得意なこと

おふろそうじ、ローマ字入力、倒立歩行、野球、サッカー、バスケット、陸上競技、バレーボール、卓球、勉強（計算や漢字）、受験対策、鉄棒運動、ドッチボール、体操、水泳、縄跳び、ピアノ、囲碁、体操、卵焼きづくり、習字、絵を描くこと、英語、柔道、あやとり、友達をいっぱいつくること……。

イ 将来の夢

お医者さん、会社や仕事を継ぐ、プロバスケットボール選手（NBA含）、大学の先生、サッカー選手、消防士、看護師、野球選手、卓球で世界大会に出場する、自衛隊、ピザ屋さん、漁師、プログラマー……。

1年生から6年生まで、ランダムに、ほんの2・3分程度ですが、自分の苦手な部分でがんばっていることにしている子や、格闘技の有名選手に会うことを夢にしている子、お手伝いをがんばっておうちの人の役に立ちたいと胸を張る子など、多種多様なんだけど、その子なりの思いや考えが伝わってくる貴重な時間でした。

明日は、どんな子と、どんなお話ができるのか楽しみにしています。

オオガハスの花が咲きました

縄文時代の地層から採取した古代ハスの種が、

今年も元気に育ち、6月18日（金）花を咲か

せました。（モノクロ印刷ですいません）



「子どもに『スマホ』を持たせること」

令和2年度の本校調査によると、

- ① 「自分の携帯電話かスマホを持っている児童」が183名（1～6年生合わせて）、
- ② 「自分や家族の携帯電話かスマホ、タブレット、ゲーム機、パソコンを使ってインターネットをしている児童」になると、329名という結果になっています。

上記①②の携帯電話やスマホ等の機器の契約名義は、子どもたちではないと思います。

保護者の皆様のご判断で「非常用」「安全確認用」

「連絡用」にと持たせている（使わせている）のではないのでしょうか？

ただし、学校は、子どもたちが携帯電話やスマホ等を持つことを推奨していません。機器使用の利便性や危険性は啓発しますが、学校への持ち込みも勧めていません。

よって、子どもたちが使っている携帯電話・スマホ等の機器によって起きたトラブルについては当事者同士での解決を図っていただくことになります。

（必要に応じて、事実関係の聞き取り・整理、関係機関を紹介することは可能です。）

SNS 使用による誤解を招く表現、誹謗中傷等の案件は全国的にも後を絶たず、ゲーム課金の賠償問題、写真データの流用流出事案等は気の遠くなるような手続きが必要で、場合によっては警察沙汰・裁判沙汰へと発展します。

前述の調査でも「怖い映像が出てきた」「悪口を言ってしまいケンカになった」「勝手にIDを他人に教えられた」といった経験の回答もあります。

大人に対しても、見覚えのない電話番号から「荷物をお届けに来ましたが」というメールが日常的に飛び込んでくる昨今です。言い古された言葉かもしれませんが、

「持たせる（使わせる）責任、持つ（使う）責任」が問われています。

「なぜ、その機器を持たせているのか」、「使用についての約束事を決めているか」、「便利で優れた機能の裏にあるトラブルを防ぐ用意をしているか」の確認が必要です。他人事ではなく自分事として、子どもさんと話し合ってみませんか？



7月

1日（木）読書の日
2日（金）委員会活動（反省）
4日（日）第1回PTA奉仕作業
5日（月）全校朝会
9日（金）自転車免許証点検
12日（月）夏休み図書貸出し開始

行事

14日（水）6年生性教育
15日（木）クラブ活動
20日（火）1学期終業日（給食なし）
21日（水）夏季休業～
8月2日（月）登校日・児童受渡訓練
8日9日（月）学校閉庁（～13日）
8月10日（水）山の日
8月25日（水）2学期始業日（給食なし）

賛 否 両 論

ある子どもたちが「ダンゴムシ」を発見したことで、ふと「？」を持ち、時間を見つけては、発見地点周辺を観察に来ています。ちらほらと「クワガタ」「カブトムシ」を見付けたという情報も聞こえてきました。

遠い昔、誰よりも早起きして出かけ、電灯近くに群がっている昆虫を採集しては、スイカの皮やキュウリ・ナスを虫かごに入れて育てていたこと思い出します。体の内側から湧いてくる「採集したい」「育ててみたい」という気持ちによって、自分なりに取り方や育て方を調べて、試行錯誤した感覚が懐かしく蘇ります。

子どもの時だからこそ湧き出てきた「？」によって、子どもの時にしか夢中になれないことを経験することができて、今があるのかもしれない。